



11月18日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ
東地申第13号

【池袋運輸区】団体交渉を行う(その1)

【運転士】

1. 池袋運輸区構内一電留線及び東京総合車両センター区留置線の入出区時間を6分とすること。

回答:必要な労働時間は確保している。

組 合

- ◆池袋運輸区構内の出区は4分、入区は3分とあるが、これは何の時間なのか。
- ◆一旦停止の時間などは何の時間なのか。
- ◆東京総合車両センターのピット線に入る時間は考慮されているのか。
- ◆点呼時間に遅れた場合はどうするのか。

会 社

- ◆入出区時間は駅～境界までの入出区時間としている。車輪の回転している時間で測っている。開通待ちは構内の時間で採っている。
- ◆一旦停止は、車輪が回転しているものとして取り扱う。
- ◆モデル時間で設定しているので、色々なルートで計測をしている。
- ◆構内については構内で決めているので、入区して点呼に遅れる時は状況報告書であげてもらえれば問題ない。

2. 平 362・366・372 行路の東京総合車両センター赤入区を青入区または乗継交代とすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

- ◆変更は可能なのか？
- ◆構内の作業ダイヤは把握しているのか。
- ◆他区所との乗り継ぎはできないのか。
- ◆技量維持の観点はないのか。

会 社

- ◆池袋運輸区と大崎運輸区との比率もあるので、本数を減らすのは難しい。JETSの作業ダイヤは、はまらない。
- ◆車両課でダイヤを作成している。構内も準備時間等もある。
- ◆区内でも乗り継ぎが出来る、出来ないが発生する。
- ◆その観点はある。

3. 平 351 行路明け場面 360G は埼京線抑止手配に時間がかかるため、6番線本線留置とすること。

回答:入換時刻や留置箇所については、設備条件を考慮しつつ駅と調整し設定している。

組 合

- ◆変更は可能か。
- ◆抑止の時間拡大のために本線に変更すること。また、出区点検中にお客さまから声をかけられることもある。

会 社

- ◆6番線本線の信号機は指令、入換信号機は駅の取扱いである。抑止に時間がかかることから副本線留置としている。
- ◆必要な時間を確保している。



11月18日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ
東地申第13号

【池袋運輸区】団体交渉を行う(その2)

3項の続き

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆抑止手配完了までの時間は労働時間なのか。 ◆<u>6番線留置は可能なのか。</u> ◆<u>4:07までの抑止は首都圏本部で把握しているのか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆指令に連絡している時間は労働時間としていない。 ◆<u>可能であるが、側線と本線で保守の頻度は異なることから設備ユニットと調整をしていく。</u> ◆把握していない。

4. 平 366 行路明け場面、平 372 行路泊まり場面便乗列車を変更し池袋駅での休憩とすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勧案し、行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆池袋の休憩とできないのか。 ◆<u>明けで一度も本区に帰れないことから、池袋の休憩とすること。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆便乗については、首都圏本部としての行路を提示している。首都圏本部と区所との調整はできる考えである。 ◆<u>区所と調整は行う考えである。可能な限り調整をしていきたいと考えている。</u>

5. 各行路の周回数は平日休日ともなるべく同数とすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勧案し、行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>現在検討していることはあるのか。</u> ◆休日は3.5周~6周とアンバランスである。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>周回数は列車ダイヤに影響されるものである。睡眠を目的とした乗務の中断、行先地の時間の確保などもあることからすべて同一とは出来ないが、区所と調整をしていく考えである。</u> ◆今後の行路作成の検討材料とさせていただきたい。

6. 平休 301 行路 562G 場面の同電便乗を解消し、外回り便乗とすること。

回答:列車ダイヤの設定や輸送の安定性を考慮し、行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>外回り便乗にできないのか。</u> ◆2時間半の連続乗務になっている。 ◆<u>現場での差し替えは可能か。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>内回りから乗務開始であることから、渡りのリスクはある。行先地の時間を確保するために同電便乗としている。</u> ◆様々な意見を聞いていることから、調整をしていく。 ◆<u>持ち替えが出来るのなら可能である。</u>



11月18日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ
東地申第13号

【池袋運輸区】団体交渉を行う!(その3)

7. 372 行路は入区もしくは出区をどちらか乗り継ぎ交代とすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

- ◆解消はできないのか。
- ◆どちらかを乗り継ぎにできないのか。
- ◆入区時、外回りの清掃が終わってから、内回りの清掃になっているため、遅延時には寝る時間が無くなる。
- ◆抑止手配で指令とのやり取りもあるが、考慮はしているのか。

会 社

- ◆372行路は夜の入区、朝の出区を担当しており、入出区の本数を見ている。
- ◆入区順に出区する行路となっており、行先地の時間を見ている。状況を見ながら判断していく。
- ◆東日本環境アクセスの作業フローは首都圏本部で確認しているが、入出区列車を決めてから東日本環境アクセスと打合せを行っている。
- ◆抑止手配の時間は労働時間として入っていない。

8. 以下の行路において時間僅少を活用して乗務中断時間を均等にする。

- ① 平363行路 1937G(19:46)→便 2180G(22:05)の2時間以上
- ② 休315行路 1731G(18:08)→1913G(20:06)の約2時間。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

- ◆解消はできるのか。
- ◆休日は列車本数が日中多く、夕方が少ないこともあり、食事を目的とした乗務の中断が短い。

会 社

- ◆①外回りから内回りの渡りがあるので、安定性を考慮している。②行先地の時間を均等にしたいという思いがあると思うので検討していきたい。
- ◆列車ダイヤに影響を受けるが、行路作成上、均等になるように作成をしている。

9. 現車訓練確保のために時間制限がかかるようになったため、1 本は朝間ラッシュ後予備として車両留置すること。現在の大崎入区の持ちを池袋入区にさせ対応すること。また、874G を大崎から池袋入区とすること。

回答:列車ダイヤの設定は、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件を考慮して作成している。

組 合

- ◆池袋運輸区構内のラッシュ後の留置本数が3本から2本になった理由は何か。

会 社

- ◆朝の使用編成数を減らしている。ピーク時間で池袋は3本から2本、大崎では13本から12本になっている。



11月18日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ
東地申第13号

【池袋運輸区】団体交渉を行う!(その4)

9項の続き

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>3本から2本になったことで、現車訓練の車両使用に制限がかかるようになったことから、1本を留置すること。</u> ◆東京総合車両センター入区を池袋運輸区構内入区に変更できないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>列車の使用本数、検修整備、車両センターからも異常時を鑑みて東京総合車両センターに車両を置いておきたいという思いもある。可能な限り対応をしていく考えである。</u> ◆<u>昼間帯の検修もあるので、すぐに出来るものではないと考えている。</u>

【車掌】

1. 208 行路の休日行路休止を解消すること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>行路休止を解消できないのか。</u> ◆日中時間帯は平日5分間隔、休日3分50秒間隔であり、休日の方が列車本数は多い。そのため、泊りで1周増、出勤も1時間～1時間30分程早くなっている行路も増えている。 ◆<u>5周行路を休止行路にするのではなく、4周行路を休止行路にできないのか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>平日に比べ、休日は350キロ乗務距離が削減されており、日勤1行路減が適性と考えている。</u> ◆全体のバランスを見て、行路については作成をしている。休日が行路休止になることで、年休の取得のしやすさもある。 ◆<u>4周行路は短時間行路であるため、育児・介護適用者の意見も聞き、調整をしていく考えである。</u>

2. 平日朝通勤時間帯の運行本数をご利用状況に応じて柔軟に見直しすること。

回答:列車ダイヤの設定は、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件を考慮して作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>首都圏本部として把握していることはあるのか。</u> ◆<u>車内急病人などの件数は把握しているのか。</u> ◆朝だけではなく、夕方も混雑しており、2～3分の遅れが常態化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>ご利用状況については把握をしている。コロナ前の水準には戻っていないという認識である。</u> ◆<u>2022年9月の朝ピークで、平均1日1件程度である。</u> ◆引き続き、状況については把握していく。

「生きがい」「働きがい」のある職場を実現するため、すべての仲間と声をあげよう!